

【様式1】

概要書

研究名	木造戸建て住宅基礎用補強工法（無筋コンクリート基礎） の開発
民間機関等 (相手方)の名称	株式会社アサンテ
研究の概要	<p>住宅に作用する外力は最終的に基礎構造を通じて地盤に伝達されなければならないことを考慮すると、後施工人通口の後施工などによる基礎の耐力低下に対する対策技術開発を早急に進めていく必要がある。そこで、木造住宅基礎用の補強技術を開発する。特に、金物・繊維版等を利用して施工手間のかからない実状に沿った補強技術を目標に既存の補強工法を改善する。</p> <p>昨年度からの研究の継続となる。住宅基礎梁に後施工により人通口を設けた後は、基礎耐力の低下をまねくが、基礎耐力の低下を補うための補強金物の研究をおこなった。今年度の研究において、昨年度より、補強金物は施工性と耐力性能を向上したものが開発できた。</p> <p>開発した補強工法は、以下の特長を有した工法となっている。</p> <p>①施工性改善のための軽量化 既存 11.75kgf から 9.01kgf</p> <p>②補強性能の向上 人通口施工前の耐力の 100%復元 既存 80%</p> <p>③ 補強材が金物であることから、品質が安定</p>